

デリバティブ取引

■デリバティブ取引関係（当事業年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで））

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

(1) 金利関連取引（2020年3月31日現在）

該当事項はありません。

(2) 通貨関連取引

（単位：百万円）

店頭	種類	2020年3月期（2020年3月31日現在）			
		契約額等	契約額のうち1年超のもの	時価	評価損益
	通貨スワップ	14,014	2,599	0	0
	為替予約				
	売建	1,459	-	△32	△32
	買建	1,646	-	38	38
	合計	-	-	6	6

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。

2. 時価の算定

割引現在価値等により算定しております。

(3) 株式関連取引（2020年3月31日現在）

該当事項はありません。

(4) 債券関連取引（2020年3月31日現在）

該当事項はありません。

(5) 商品関連取引（2020年3月31日現在）

該当事項はありません。

(6) クレジットデリバティブ取引（2020年3月31日現在）

該当事項はありません。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごと、ヘッジ会計の方法別の決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額及び時価並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

(1) 金利関連取引（2020年3月31日現在）

該当事項はありません。

(2) 通貨関連取引

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	2020年3月期（2020年3月31日現在）		
			契約額等	契約額のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	為替予約	外貨建の貸出金、有価証券、預金、外国為替等	122	-	△1
	合計	-	-	-	△1

(注) 1. 主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号 2002年7月29日）に基づき、繰延ヘッジによっております。

2. 時価の算定

割引現在価値等により算定しております。

(3) 株式関連取引（2020年3月31日現在）

該当事項はありません。

(4) 債券関連取引（2020年3月31日現在）

該当事項はありません。

■デリバティブ取引関係（前事業年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで））

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

(1) 金利関連取引（2019年3月31日現在）

該当事項はありません。

(2) 通貨関連取引

（単位：百万円）

店頭	種類	2019年3月期（2019年3月31日現在）			
		契約額等	契約額のうち1年超のもの	時価	評価損益
	通貨スワップ	14,148	14,148	1	1
	為替予約				
	売建	95	-	0	0
	買建	137	-	0	0
	合計	-	-	2	2

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。

2. 時価の算定

割引現在価値等により算定しております。

(3) 株式関連取引（2019年3月31日現在）

該当事項はありません。

(4) 債券関連取引（2019年3月31日現在）

該当事項はありません。

(5) 商品関連取引（2019年3月31日現在）

該当事項はありません。

(6) クレジットデリバティブ取引（2019年3月31日現在）

該当事項はありません。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごと、ヘッジ会計の方法別の決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額及び時価並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

(1) 金利関連取引（2019年3月31日現在）

該当事項はありません。

(2) 通貨関連取引

（単位：百万円）

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	2019年3月期（2019年3月31日現在）		
			契約額等	契約額のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	為替予約	外貨建の貸出金、有価証券、預金、外国為替等	122	-	△2
	合計	-	-	-	△2

(注) 1. 主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号 2002年7月29日）に基づき、繰延ヘッジによっております。

2. 時価の算定

割引現在価値等により算定しております。

(3) 株式関連取引（2019年3月31日現在）

該当事項はありません。

(4) 債券関連取引（2019年3月31日現在）

該当事項はありません。